原子力災害発生時の対応（フローチャート）

・原子力災害が発生してから避難または保護者へ引き渡すまでを表しています。

原子力災害

災害発生

国の原子力災害対策本部

県・町の原子力対策本部

学校（災害対策本部）

安　全　確　保

登校時

授業中

下校時

校内放送等により屋内退避を指示

登校してきた児童生徒を，速やかに教室に退避させる。

校内放送により，自分の教室以外にいる生徒を，速やかに教室に退避させる。

学校に残っていたり，戻ってきた生徒を速やかに屋内に退避させる。

教室等の全ての窓やカーテンを閉め，換気扇等を止める。

生徒の状況把握

保護者（家庭）への状況報告

正確な情報の収集と指示

長時間の屋内退避においては特に，生徒等の体調や気持ちの変化に配慮する。

引き渡しまたは避難

県・町対策本部からの指示

保護者へ引き渡し

避難

引き渡し場所の確認

保護者（家庭）への連絡

生徒の引き渡し

引き渡し後の生徒の状況確認

避難場所の確認

保護者（家庭）への連絡

避難場所への移動

避難場所での生徒の状況確認

生徒の留意点

屋内退避の場合

①屋外にいたら先生の指示で速やかに屋内に退避し、避難の準備をする。

放射線から身を守る方法

①放射性物質から離れる。

②放射線を受ける時間を短くする。

③コンクリートなどの建物に入る。（木造よりもコンクリートの方が　放射線を通しません。）

放射性物質から身を守る方法

①空気を直接吸い込まない。（マスクやハンカチで口をふさぐ。）

②決められた量より多くの放射性物質が付いたりした可能性があるとして制限された食べ物や飲み物はとらない。

屋内退避後の行動

①教室等のすべての窓を閉める。

②カーテンを閉める。

③換気扇等を止める。

④屋外にいた場合は、手や顔を洗う。

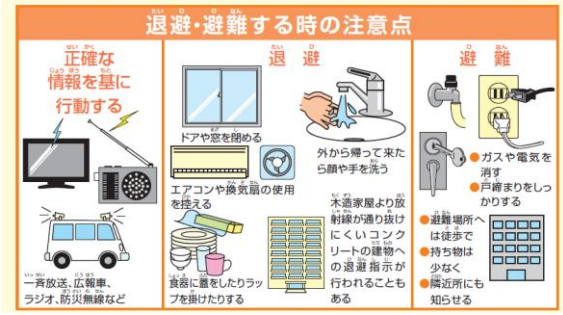
学校外への避難の場合

①屋外にいたら先生の指示で速やかに屋内に退避し、避難の準備をする。

②避難のために車両に乗るときは、落ち着いた行動をとる。

③避難所についたら、先生や市町の係の指示に従って行動する。

学校の留意点

①テレビ、ラジオ、広報車、インターネット等、様々な手段で伝達される情報を入手する。
②すぐに戸や窓を閉める。換気扇、空調設備等を止め、外気を遮断する。
③屋外にいた生徒等は、顔や手等の洗浄を行う。
④火気の点検をする
⑤教職員のいない教室の生徒の安全を確保する

①停電により校内放送で指示ができない場合の連絡体制
・ハンドマイクの使用
・各教室、各階への連絡体制の確立